



第44号

平成20年5月1日

大津町
議会だより

Ozu

ガイドライン

3月定例会

定例会・報告 2・3

新年度も100億超予算

委員会レポート 4～9

「町政を問う」一般質問(10人)
..... 10～19

ベニエゴノキ

3月定例会

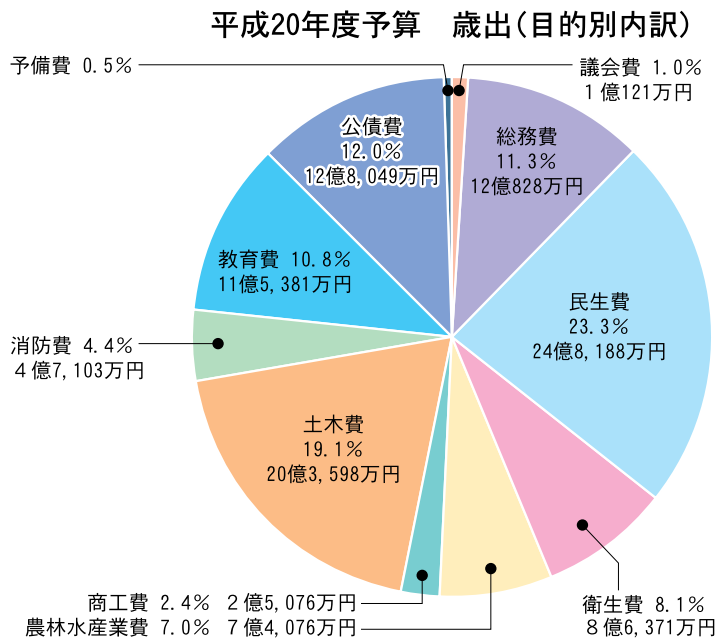
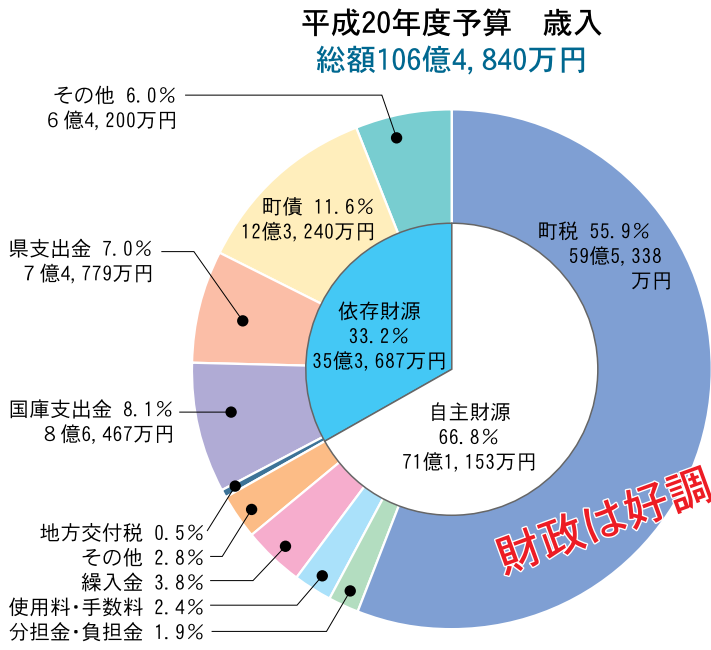
ハード事業と福祉の充実

3月定例会を7日から19日までの13日間の会期で開きました。

開会にあたり家入町長は1期目にかかげた10項目の基本方針に沿って新年度の「町政運営の所信」を表明しました。

初日の議案説明に続き、2日目に議案質疑を行い、まず、19年度各会計補正予算、教育施設整備基金条例の制定などの9議案を本会議審議で採決し全議案を賛成全員で可決しました。

今年も100億円超の予算



20年度各会計予算、各条例の制定など24議案を3委員会に付託して審査しました。委員会では現地調査を行った後、審議を行いました。

一般会計

一般会計は、昨年度に比較してプラス4・8%106億4840万円です。

2年連続で100億円をこえる規模となつています。

歳入の町税は昨年比で5億1727万円の増加見込みで、4年連続で普通交付税不交付団体になる見通しです。

歳出では都市計画道路・駅前楽善線や本田技

研南通線の4車線化・325号線までの延伸などの大型公共事業(まちづくり交付金事業)に10億7839万円の予算。同時に福祉分野で子どもの医療費無料化が小学3年生から6年生までに拡充され、不足している保育所の新設整備に9163万円の補助金を予算化しています。

目的として町給食センター横にセンターを設置。○大津町後期高齢者医療に関する条例(制)○大津町乳幼児等医療費補助に関する条例(改)子どもの医療費助成を小学3年生から6年生にまで改正。

請願・陳情・意見書

陳情①採択・賛成全員ハンセン病問題の真の解決と国立ハンセン病療養所、菊池恵楓園の存続、医療、福祉の充実を国に求める意見書の採択

陳情②採択・賛成多数『道路整備財源の確保に関する意見書』の議決

請願①不採択

国に後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める意見書の提出

一般質問は10人が行いました。

主な条例改正・制定

○大津町・部設置条例

改 役場組織・機構を見直し、これまでの課を部制に再編。ただし人件費はこれまでと基本的に変わらない。

○大津町教育支援センター条例(制)

児童生徒の教育支援を

新監査委員の選任同意

富森様ご苦労様でした



大久保純一監査委員

監査委員の富森健助さんが3月末で退任されるため、新たに大久保純一さんの選任を賛成全員で同意しました。

新監査委員

氏名 大久保 純一

住所 大津町室

年齢 60歳

ハンセン病問題基本法の制定と国立ハンセン病療養所菊池恵楓園の存続、医療・福祉の充実を求める意見書

1996年3月に「らい予防法の廃止に関する法律」が成立されてから10年余が経過しました。

この予防法廃止にあたり、衆・参両院で採択された国会決議は、政府に対し、ハンセン病療養所入所者の高齢化、後遺障害等の実態を踏まえ、療

養生活の安定を図ること、医療・福祉等処遇の確保について万全を期すこと等を求められました。

そこで、当議会は、ハンセン病問題の真の解決

を図るため、次の事項を強く要望します。

● 「ハンセン病問題基本法」を制定すること

● 国会決議に基づき、ハンセン病療養所の医療、看護、介護体制の強化を図ること

● ハンセン病療養所を統廃合せず、入所者職員、地元住民など関係者の意見を尊重し、地域・国民のための医療・介護施設等として広く開放すること

道路整備財源の確保に関する意見書

賛成13人
反対2人

道路は、国民生活や経済、社会活動を支える最も基礎的なインフラであるが、本町の道路整備は遅れており、その整備は町民が長年にわたり熱望しているところである。

● 現行水準を維持することにより、道路整備の安定的かつ確実な財源確保を図ること。

● 地方の道路整備は現行の道路特定

財源のみでは賄えていない状況にかんがみ、国

の道路特定財源の地

方への配分割合を高めることなど、地方における道路整備財源の充実に努めること。

● 地域の生活に密着した道路の整備や維持補修が安定的に実施されるよう、平成20年度以降も地方道路整備臨時交付金制度を維持し、拡充すること。

意見書に対する討論

石原大成議員

賛成だ！

道路特定財源の暫定税率の期限が迫るこの時期に、期限内の本法案の成立に向け、県内市町村が一丸となって要望を行うことは大変重要である。

● 従いまして、この意見書の提出に対して賛成の立場を表明する。

大田黒英生議員

瀬田竜田線、瀬田方面より整備拡張され、森、吹田は現状のまま

● 車の通行量は以前の倍となり、子ども達の通学は危険との背中合わせの通学となっている。現状を県に話し今後の計画を聞いたところ、いつになるか分からない。道路特定財源が廃止になったら瀬田竜田線は完全に凍結とのことである。地元にとっては必要であり地方財政厳しい中、必要不可欠な道路整備をするためにも私はこの意見書に賛成する。

永田和彦議員

反対だ！

日本は人口減社会に突入し納税者が減っている。新規の道路を造ったから旧道を下取りに出すことは出来ないから増え続ける。すでに修繕費だけで多額の財源消費をしている。将来に負の遺産を残さないためにも必要最低限の道路をきちんと検証して造るべきだ。また、最近の特定財源を使った不祥事無駄遣いの数々は予算配分が下手であり過剰課税の表れだ。京都議定書での地球温暖化対策に対して逆行している。

荒木俊彦議員

● 国の借金は800兆円にもなるのに、更に10年間に54兆円もの特定財源を政治家と官僚とゼネコンがむさぼる制度を、いつまでも許しているのか？ そのつけとして後期高齢者医療制度など社会保障や暮らしの予算は削られている。

委員会レポート

経済・建設 快適な生活環境づくり

一般会計

Q 農業公社はどんな機関で誰でも利用出来るか。

A 農地保有合理化促進事業で農地の売買を行い税金で優遇措置がある。

利用は認定農家で要件を満たした人が対象。

Q 米の品質が落ちたという話はないか。

A 平成19年度全国食味分析鑑定コンクールで、町内4地区で作付けしている水稲が全国10位、県内1位であった。

Q 岩戸の里の改修内容と今後の改修計画と事業計画はどうなっているか。

A 各補給用電動弁の取り替え工事やポンプメンテナンスです。改修費は20年度から24年度まで合計3507万円。利用者の8割が町民である。

19年度の事業は、「夏休みに露天風呂から南十字星を見よう。」「JRとタイアップしたウォーキングラリー」が開催された。20年度も新たなイベントが計画されている。

Q 「明日の観光大津を

創る会助成金」と「大津町まちづくり推進協議会助成金」はどう違うのか。

A 「明日の観光大津を創る会」は、まちづくり団体としてつつじ祭りやからいもフェスティバルを企画運営している。

「大津町まちづくり協議会」は明日の観光大津を創る会、商工会、JA、女性の会、PTA、個人など21人で組織し、まちづくり交付金事業に伴う事業推進の為の協議会で、昨年10月設立。

Q 大津町にはゴミ収集運搬業者が多い。競争入札を実施した方が安価になるのではないか。受託価格の妥当性はあるのか。

A 今回の増額は軽油価格上昇分と車輛の増車に伴う償却費の増額である。金額算定の基準は人件費、車輛費、償却費等の必要経費を積み上げる積算を行っている。熊本市が埋立ごみの2/3、可燃ごみの2割を平成21年より一般競争入札を開始するので見守りたい。

環境保全組合管内ごみ収集運搬委託料一覧

	平成20年度予算 委託料 (円)	人口 (人)	1人当り (円)	面積 (km ²)	面積割 (円/km ²)
大津町	67,822,000	30,076	2,255	99.09	684,448
菊陽町	54,800,000	34,471	1,590	37.57	1,458,611
合志市	174,000,000	54,175	3,212	53.17	3,272,522
菊池市 (旧泗水町)	35,839,000	14,883	2,408	26.97	1,328,847



美咲野の美しい街並

Q 美咲野団地内道路の街路樹は誰が植えたのか、管理責任はどこにあるか。

A 美しい街並は維持管理の経費が掛かる。町も植樹帯をつくる際のルールづくりが必要ではないか。

A 開発業者が植樹帯として植えている。道路の町への移管と同時に町へ移管された。低木は地元をお願いしているが、高

木は平成20年度限りということで区長と相談してやっていきたい。

条例改正

・大津町都市公園条例の一部改正

昭和園のテニスコート利用料(一面)半日につき310円を1時間につき150円に改正する。



立石団地下水道整備 1 期工事、外壁および屋根等を改修
平成20年～22年度 総額 1 億2810万円

3525 万円

立石団地改修工事

主な予算

迫井手圃場整備事業
事前調査費（中島・岩坂）

6000 万円

1 区画50 a に区画整理し生産性の高い圃場にする。

平成20年～25年度 総額11億5000万円

工業用水道・新設井戸の掘削

3600 万円

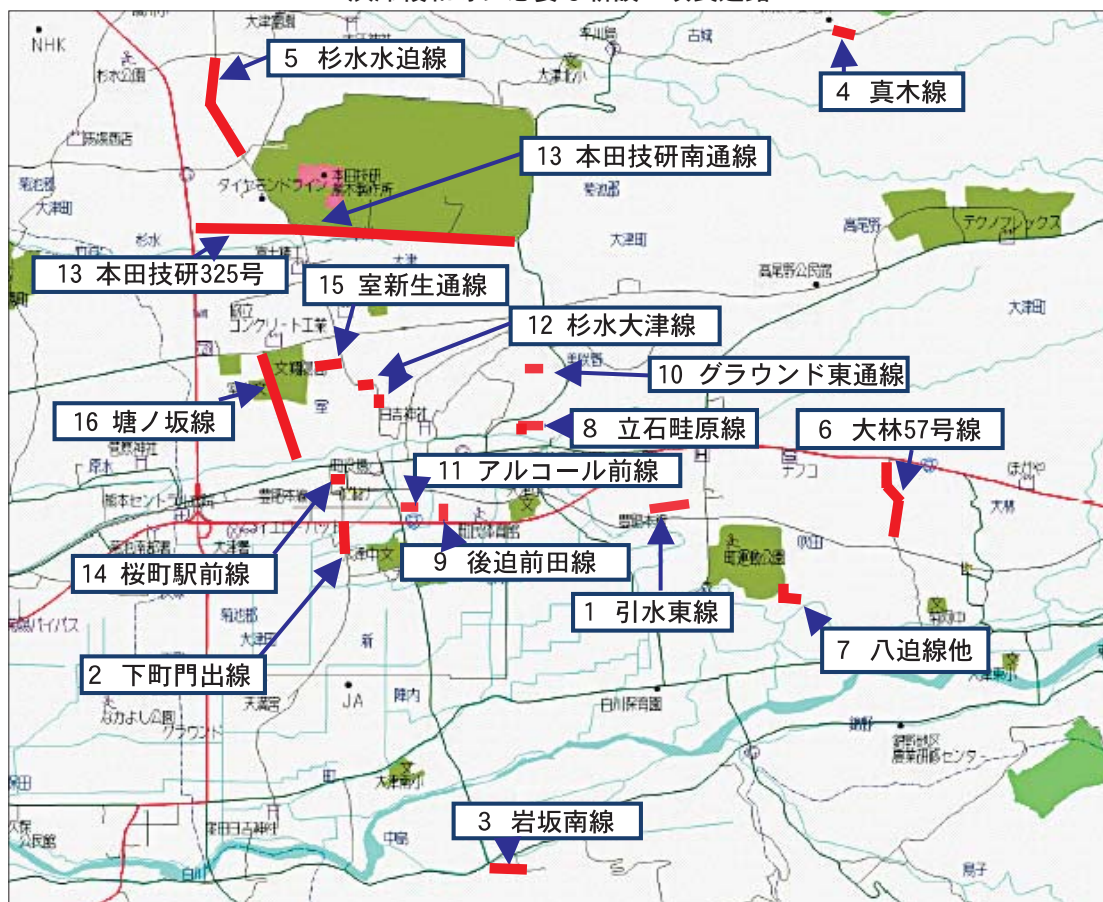
工業用水道の安定給水のため新設井戸第4水源地さく井工事
1 日5000 t で計画
平成20年～21年度 総額9800万円

主な道路事業計画

予算額（単位：万円）

番号	金額
1	3,000
2	2,244
3	430
4	1,000
5	2,060
6	4,400
7	615
8	1,590
9	1,670
10	800
11	4,320
12	1,370
13	64,670
14	600
15	450
16	800

渋滞緩和等に必要な新設・改良道路



一般会計

Q 町のバス運転業務委託の運転手と県外などの運転業務はどうなるのか。

A 今年一月から町のバス運転業務は、シルバー人材センターに委託している。県外への運転業務は、シルバー人材センターとコミュニケーションをとり、安全面もしっかりやっていく。

Q 保育所の一時保育の利用料はいくらか。

A 1日2千円、時間単位で利用することもでき、その場合は1時間250円である。

Q 防犯カメラ・AEDの設置台数は何台か。また取扱いはどのように考えているのか。

A 防犯カメラは大洋小学校6台・室小学校6台・AEDは各小・中学校それぞれ1台を計画している。取扱いは先生方へ講習を行う。

Q 梅の造花保存会は、商工会が事務局であり、町から補助金が出ているが、町の宝であるなら町が主体となって取り組むべきではないか。

A 保存会と協議し、他の流派と話し合い、統合や一本化など整備していただくよう進めている。

Q 昭和園のテニスコートの使用料があるが、どの位利用があつていいのか。町外の人が使用する場合は使用料はどうなっているのか。

A 20年2月末現在で、98団体・4344名の利用者で、使用料は今回の条例改正で、半日単位から1時間単位に変更し料金も1時間150円である。町外利用者は町内使用料の3倍料金である。

Q ブックスターが始まってから4、5年経過しているが、スタート時0歳の子どもが、今4、5歳になつてきているが、効果はどうなっているか。

A 子ども連れで図書館に来られている。兄弟のいるところは、絵本の同じものがないように種類を変えたりして、配るときに配慮している。

Q 給食センターの地元産の利用の割合はどうなっているのか。

A 18年度の実績は25品目中14品目が大津産である。米・から芋・人参・卵は100%、その他は14%で全体から見ると70%は大津産である。品質管理も含めてJ Aを通して納入されている。

特別会計

Q 人間ドックに対し2万5千円を限度に補助するということであるが、

日帰り（1日）ドックのみとなるのか。

A 1日（日帰り）ドックに限定するものでなく、1日ドックを標準とし、補助限度額を2万5千円とするもので、2日ドック及びオプションは、限度額を超えた分は自己負担していただくものである。

Q 老人保健特別会計は平成20年度で終了するのか。

A 過年度診療分等の精算があるので、現在23年度までは存続するが、法令に最終年度の規定が設



大津東小の現地調査

けてないので以後については今のところ不明である。

Q 介護認定調査等費の非常勤職員について、資格や認定調査の状況はどうなっているのか。

A 看護師や介護支援専門員の資格を持った人が介護認定調査を行う。認定調査は月に100件程度である。

Q 鍼灸施術費の補助金が100万円計上されているが不足はないか。

A 平成18年度は、75歳以上の国保被保険者への補助総額が約70万円である。

あった。後期高齢者医療では、今まで社会保険だった人も対象となり、国保被保険者と社会保険被保険者の割合が約7対3であるので3割分を増額し100万円を計上している。

条例改正

Q 教育支援センターの開設時間の変更は出来る様だが、開設の曜日の変更は出来るのか。

A 相談等の関係で開設することは出来る。

Q 後期高齢者医療制度は高齢者には分かりにくいと思うが、制度の周知はどのようにしているか。

A 現在、老人会等を対象に説明会を開催し、制度の周知を図っている。

Q 乳幼児医療費補助を中学生まで拡大したら、あとのかなりの費用がかかるのか。

A 19年度の試算によると、中学1年～3年生まで拡大した場合、その増加分は約1700万円である。

厚生

委員会レポート

こどもの健康の保持及び健全な育成と子育て支援を図るため医療費の助成を行うもので、本年度より小学6年生まで拡大される。

こども医療費助成 (乳幼児等医療費補助)

9000万円

保護者の仕事と子育ての両立支援のため、午後6時から7時までの1時間延長保育を町内のすべての保育園で実施。

延長保育 促進事業委託

505万円

町づくり交付金事業で地域交流施設整備として行うもので、設計730万円、他に地質調査372万円、分筆測量160万円となっている。

大津地区公民館 分館実施設計

730万円

高齢者の健康の維持・保健・福祉・医療の向上と増進のために必要な援助・支援を包括的に担う地域の中核機関としての地域包括支援センター予算。

包括的支援事業

4162万円



高齢者や障がい者が気軽に相談できる場所
 ■大津町地域包括支援センター TEL: 292-0771
 ■大津町障害者相談支援センター TEL: 292-0114

文 教

主な予算



大津地区公民館分館予定地（現、室住宅地内）

特定健康診査等 事業費

3873万円

40歳から74歳までの国民健康保険者に対する特定健康診査及び特定保健指導に係る費用、及び人間ドックの補助金と事務費。

後期高齢者医療 広域連合納付金

2億3305万円

被保険者が納付した保険料1億7091万4千円及び基盤安定負担金6214万4千円を計上。

条例の制定と改正

「大津町部設置条例」

「職員の子児休業等に関する条例及び技能労務職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例」

「大津町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例」

「大津町営住宅条例の一部を改正する条例」の4件を審議した。

☆部設置条例に関して☆

Q 今までは課長をトップとしてその下に室長がいた。これからは部長の下に課長が置かれ、室長は廃止となる。管理職手当はどのように変化するのか。

A 現在課長が10%、室長が7%の管理職手当をもらっている。新体制では部長が10%、課長が7%となる。支出の面から見ると変化はない。

☆町営住宅条例の一部を改正する条例に関して☆

Q 町営住宅の入居に関して、「暴力団員の排除」



町営住宅から暴力団排除

に係る措置を規定するために改正しようとするものであるが、暴力団構成員であるかどうかの判断はどうするのか。

A 警察と連携をとり判断する。今後、町営住宅から暴力団員を排除するため、大津警察署と「暴力団員に関する町営住宅等の使用制限に関する協定書」を結ぶ。

20年度一般会計

Q 行政バス運転業務委託はどのような内容か。

A 民間活用の一環として、シルバー人材センターへの委託を予定している。金額については一時間当たり990円であり、運転手さんに900円、残りの90円がシルバー人材センターの収入になる。

Q 乗合タクシーの利用実態はどうなっているか。地区外からの利用はできるのか。

A 月平均100名前後の利用がある。補助金は7万円程度。運輸局の許可を得て運行しているの、地区外からの利用はできない。

Q 消防団について、年齢がある程度いつてもなかなかやめられない。定員を減らすことはできないか。

A 国からは逆に定員を増やして災害時に備えるよう指示が来ている。

Q 大津まちおこし大学はどのような仕組みか。人づくり学部とまち

づくり学部の2学部制。

人づくり学部には、暮らしの安全を考える学科や文化振興学科などをも

うけ、研究するテーマを明らかにして住民の皆さんを学生として公募することになっている。特に地域

おこし学科は各行政区から推薦していただいた人を対象に行い、地域の

リーダーとして将来は区長さん等になる人材育成を目指している。また、

まちづくり学部は現在町で活動しているグループや団体の交流や横の連携

を深める学部になりたいと考えている。

Q 地域通貨「みずみず」はどうして取り組みを考えたのか。またどのように検討されたか。

A 当初は環境問題、特にごみの減量化を進めるのに地域通貨が使えないかと検討をはじめた。先進地として滋賀県彦根市の事例を研究し、大津町版の地域通貨制度を作りあげた。

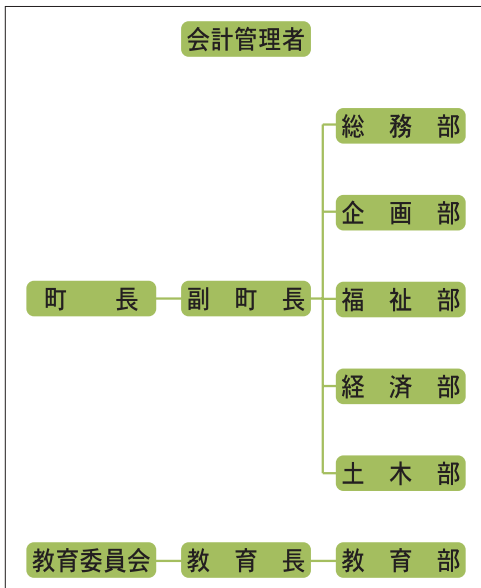
Q 本田技研南通線から国道325号までの新設道路沿いに、企業立地は考えられるか。

A 周辺の地目が山林なので立地は可能。

務

委員会レポート

新 行政機構図



のいあいタクシー

大津町予約制乗合タクシー

ここは、町中心部における待ち合わせ(乗車)場所です。

予約をすれば、だれでも、1人でもご利用になることができます。ただし、行き先(降車場所)が下記の地域に限定されています。(町中心部のみの移動には、使えません。)

月・水・金	運行日	火・木・土
真木・古城・米山 腰東・御膳所 下猿渡・御所原	行き先ごとの 1人あたりの 片道利用料金	高尾野・新小屋 灰塚
	150円	灰塚
	250円	高尾野
下猿渡・御所原	300円	新小屋
腰東・御膳所・米山	400円	
真木・古城	500円	
12:12	出発時刻	12:12
前日の午後3時から 当日の午前11時まで予約	予約時刻	前日の午後3時から 当日の午前11時まで予約

予約をしていないと、利用できませんので、ご注意ください。

ご予約は、080-1773-8383

タクシーは道路の都合上、遅れる場合があります。出発時刻には必ず待機してください。

乗り合いタクシーの利用は月約100名

企業誘致を推進

総

主な予算

工場等振興奨励補助金

1億5700万円

南部工業団地の横河電機所有の土地に株マルマエと株アムドの2社が進出することになった。
町の要項により2社に用地取得ならびに取得固定資産分として補助金を支給する。

中核工業団地に防犯灯設置

1000万円

中核工業団地（高尾野）には東京エレクトロニクス（株）、テラデザイン（株）、三井ハイテック、濱田重工業（株）、株ルネサス九州など10社の工場が立地している。濱田重工やルネサス九州は工場の増設、従業員の増加で遠く離れた駐車場を利用している。特にルネサス九州では工場から駐車場までは600m離れており、24時間稼働で3交替の勤務をしている。沿線の防犯灯が要望されていた。

電子計算費

1億400万円

- 電子計算費
- 電子計算機器、総合行政システム等に関する運用経費
- 光ファイバーにより出先機関と各小中学校とを接続している電子計算機専用回線の使用料
- 電子計算機器借入料、電子計算機器基本ソフト使用料
- 住民基本台帳ネットワークに関する運用経費
- 情報系業務システム等に関する運用経費
- 事務用パソコン38台購入

会社紹介

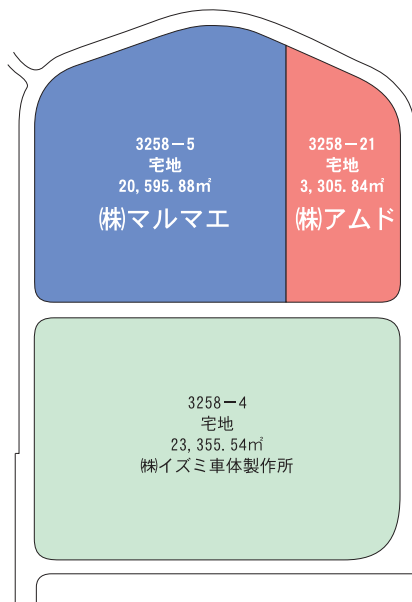
(株)マルマエ

本社 鹿児島県出水市
半導体及び液晶製造装置
部品用精密部品製造開発

(株)アムド

本社 東京都小平市
大型基板用検査装置、半導体製造関連装置の開発、設計及び販売

南部工業団地



熊本中核工業団地



地域づくり推進費

890万円

- 自治基本条例制定検討事業
- 地域づくり推進事業
- 人づくりまちづくり事業
- 元気大津づくり事業



ミニ特区から地域づくり推進事業へ
(森区のつつじの植樹)



電算室での事務

町長・町議の同日選挙 について

町長／公選法では可能

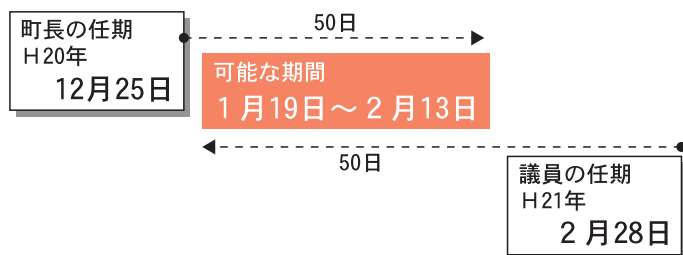


永田 和彦議員

町政を問う

一般質問
10議員

同日選挙が行える期間（公職選挙法）



町長選挙の満期と議員の満期はさほど離れていない。前回の選挙のときにも噂された同日選挙を特例を使えばできるのではないか。このことについて町長が判断を下す立場にないが、同日選挙と

することでもかなりの経費削減が見込まれる。また公職選挙法でも選挙経費の節約と事務手続きの簡素化が強くうたわれている。

選挙1回の予算は約1300万円ほど組まれており、2回すれば2600万円になる。同日選挙に持ち込めば少なくとも1000万円ほどの経費削減になる。また町民にとっても同日選挙ということで非常にわかりやすい。町長が姿勢を表明することにより、ことが前進すると思ひ質問する。

家人町長

公職選挙法によれば議員の任期満了と町長の任期満了日が90日以内にある場合における特例制度がある。同時選挙であれ

20年度施政方針について

町長／農家の経営安定や行財政評価すすめる

ば町長不在が1カ月半近くあるが、行事については職務代理者が執行していくし、一度やればあとは同時選挙が続く。町民の皆さんが望む形であれば、そういう方向に向うと思う。



農業の後継者は育つか？

家人町長

大津町の農業ビジョンとしては、担い手の育成と農業所得の向上が重要課題と考える。農地を整備することで水路の崩壊防止や農地の冠水、用水の確保、作業の効率化や

町民の目線に立ち、厳しい経済状況を意識したものであったか。

農業政策では村づくり交付金事業を活用し農地の基盤整備に力を入れ経営効率を高めることが一番といわれるが、農家は非常に厳しい状況に立たされている。農業は大切ではあるけれども後継者がいない、品質では負けないが価格競争で中国や諸外国に負けてしまいうし、見た目が変わらぬ野菜などは消費者は経済性を重

視し産地より安い方を買う。

農業の現状を認識し農家の所得を上げる適切な政策とは思えない。

財政改革も非常に甘い。無駄を省くなどは当たり前のことであり、経費削減というのは民間企業でも行政でも当たり前の恒久課題である。問題は依然として指名競争入札と随意契約がびこっている部分だ。これは町民にとって大きなデメリットである。

農地保全、車両の円滑な運行などの環境整備を図っていく。このような意味において村づくり交付金事業を活用していきたい。また関係機関と十分連携を取りながら生産農家の経営安定に努めていきたい。

財政計画関係等については、行政評価関係等をしながら、例えば補助金の見直し関連等について十分な検討をすすめる。



新開 則明議員

農業委員会の必置規制の 堅持と営農指導を問う

町長／農業委員会はなくてはならない

国は地方自治体が地域の
実情に応じて農業委員
会の設置を任意に決定で
きるように進めているが、
町として必置は大切では
ないか、農業委員会に期

待される今後の取り組み
は、どのような事か。集
落営農組合と他の農産物
生産グループの営農指導
は今後どのように進めて
いくのか。

家人町長

農業委員会は、なくては
ならないものと思ってい
る。今後、地域農業の
助言者であり、リーダー
として頑張っていただき
たい。営農指導関連は、
今後十分状況を判断し、
今、やるべきものをしつ
かりと方向を決めていく。

大塚産業振興課長

県の農業指導関係も行
い事業を行うグループに
も、それぞれ場合にに応じ
補助金を出している。



農業委員会現地研修

食の安全対策を問う

町長／協議会などと連携して推進
する

食の安全に対し住民の
関心が高まっているが、
分かりやすい情報の提供
に努めるべきではないか。
生産者と消費者の懇話会
等を設け、安全策の向上
に取り組み考えはないか。
学校給食における地産地
消と安全対策はどう進め
られているのか。

宮崎教育長

学校給食に使用してい
る農産物は25品目で、そ
の内14品目は大津産であ

町の特産品と つつじについて問う

町長／開発関係等に
支援していく

家人町長

食の安全については、
地産地消研究会を推進し
協議会などと連携を十分
推進しながらやっていく。

り、米・唐芋・ニンジン・卵はすべて大津産である。安全性については独自に125項目にも及ぶ食品検査を実施しており、安全性及び信頼性は高いものだと思っている。

家人町長

開発関係等には十分支
援していく。資料館の形
で文化・造花の資料を展
示し町内外に情報提供し

特産品の開発や研究を
支援する場合は考えられ
ないか。企業とも連携し
互的な情報を図るべきで

はないか。つつじ園をア
ピールし、イベントの企
画を充実して町の活性化
を図るべきではないか。

ていきたい。つつじロー
ドも考えて町の歴史のあ
る淀川系のつつじを検討
したい。案内板も目立つ
場所を選びたい。



つつじは町を代表する町花



食の安全で自給自足の菜園

54兆円もの道路特定財源 ムダを改め、くらしのために

町長／現制度の維持を望む

ガソリン価格に占める税金／リットル		
ガソリン税	本則税率分	28.7円
	暫定上乗せ分	25.1円
石油石炭税		2.04円
消費税		7.4円
原価＋経費		91.76円
合計・ガソリン価格1リットル		155円

道路財源を食い物に	
道路財源から収入を得ている50公益法人のうち25法人で国交省天下りOBが独占	
理事長の年報酬	1700万円～2105万円

家人町長
特定財源の暫定上乗せ分がなくなると町内における道路改良等の予算関係に影響する。福祉や社会保障関係に回せばとの話もあるが、今のところは、現制度を維持しながら、将来的には仕方ないという思いはある。

黒田企画政策課長
町の歳入のうち道路特定財源は2億2600万円、うち暫定上乗せ分が1億500万円である。



荒木 俊彦議員

道路特定財源は、毎年5兆4千億円、うち約半分2兆6千億円が暫定上乗せ分。人口比で按分すると、大津町民は13億5

000万円納めている。大津町の道路特定財源とそのうち暫定上乗せ分はいくらか。

10年間で54兆円の莫大な財源の大半は高速道路建設費。その工事を請け負う大手ゼネコン、官僚の天下り、政治献金を受け取る政治家、まさに政治家がよってたかつて我々の税金を食い物にしている。

国は800兆円、地方も数百兆円という借金を抱えながら、さらにムダ使いと借金を重ねるやり方は改めるべきである。

4月から後期高齢者医療制度が始まる。政府は年金・医療の財源を毎年2200億円減らしている。莫大なムダ使いをしながら高齢者をいじめるこれが人間のための政治だろうか。

大津小周辺の 通学路の安全を

町長／全校の通学路の安全対策をはかる



県道工事中の大津小通学路

家人町長
県道、西鶴中井迫線がバイパスから藤本タイヤまで工事が進んでいるが、子どもの逃げ場がない状況であり非常に危険。

家人町長
新一年生が通学を始める前に緊急に土地を借りてでも安全対策を施すべきではないか。

家人町長
大津小学校のスクールゾーン

ゾーンの安全性については指摘のとおりで即改善をやりたい。他の小学校も危険箇所等もPTA、教育委員会とともに道路関係担当課も交えて対策をはかる。

介護労働者の 処遇改善を

町長／雇用条件改善をすすめる

家人町長
ヘルパー関係職員のな

家人町長
介護で働くヘルパーさんなどが低賃金、重労働で、事業所も介護報酬が安くて経営が大変。東京千代田区では、補助金を

出している。人間が人間を介護するという本分に崇高な仕事、大変な仕事の、処遇を改善することが必要だ。

職員処遇について改善検討をさせる。

松永健康福祉課長

介護保険の家事援助単価の見直し。また保険外の生活管理型のヘルパー派遣1500円（90分未満）を2200円に引き上げたい。雇用期間を3年ぐらいに延ばすこと、ボーナス支給や通勤手当などの改善を進めたい。



月尾純一郎議員

大津街道（清正公道）に桜の並木を

町長／歴史を生かしたまちづくりを検討する

家入町長

清正公道は、桜山の地名があるように、五里木坂から下は、街中を眺める山桜の波が大変きれいな

大津町は歴史的に宿場町として栄え、今またビジネスホテルが林立するなど平成の宿場町としての様相を呈してきた。加藤清正が歩いた大津街道、いわゆる清正公道。今、子ども達や多くの人達が昔の心を体感しようと歩いている。この道筋に桜の木を植え、桜の街道をつくる考えはないか。



桜満開の清正公道

であつたと歴史の記録に残っている。鶴口から五里木坂までの区間の両サイドには緑の竹林があり秋の紅葉の映えるのが印象深く心に残っていると高齢の方の話も聞く。地域づくり支援事業の中で、地域の人たちにまず一歩から作って頂き、ボランティア団体の皆さんや地権者のご協力を得ながら、歴史を生かしたまちづくり、まち興しを十分検証していく。財政的なものも検討しながら大きな目標に向かって歩んでいく。



町のオアシス昭和園

町長／安全性に重きを持った公園に
使いやすい公園に
昭と園をもっと

昭和園が大変危険であり、使いにくいとの声がある。つつじが大きくなりすぎて死角となり、子どもを安心して遊ばせられないと言う。昭和園は発展する大津町の中核公園としての使命があると思う。町民の声を取り入

家庭から出され処理場へ持ち込まれる燃えるごみのうち約6割が生ごみと言われている。多く出るほど収集や焼却に費用がかかり、大津町の負担も大きくなる。21世紀は環境の世紀。これまで廃

棄されていたものを再利用、再利用し、大切な資源を循環させ環境に優しい社会を創り上げていくことが大事だと思う。段ボール箱を使った生ごみ堆肥化に取り組んでいく考えはないか。

段ボール箱で
生ごみの堆肥化を
町長／ごみの処分量を減らす取り組みを検討する

段ボールでの生ごみの堆肥化については、テレビでも見、他町の取り組みも勉強している。処分量を減らすことを頭に置いて取り組みと思う。大津町でも、再度各種団体等に説明をしていき、その中で段ボール箱を利用したごみ処理も十分検討していきたい。手軽にできるようなことへの支援をしっかりとやっていきたい。

家入町長

れ、使いやすい平成の公園を目指すべきではないか。

家入町長

昭和園は都市公園として造ったもの。お母さん方や地域の皆さんの声をよく聞いて、笑い声の聞こえるような公園にしていきたい。子ども達の目に立つた安全性に重きを持った公園にするため、今まで手を付けていなかった部分も再度見直し、特長のある公園を作っていきたい。

美しい森づくり運動を

町長／長期展望に立った総合的な展開を図る



石原 大成議員

大津町は、阿蘇外輪山

から広がる広大な森林や豊かな傾斜地をしている畑地帯、白川両岸の水田地帯、そして豊後街道やJR豊肥線などの交通の要衝として市街地が成り立っている。又、歴史的遺産も多く、住民が長い年月をかけて創り上げてきた町でもある。ところが近代化や人口増などの都市化が進み、藪が繁茂する空地や、放置竹林の急増などかつての大津町の美しい光景を見ることができなくなっている。大津町は、人と自然が

共に生きる町を目指し、

自然環境と調和するまちづくりや光景づくりに向けた姿勢を示している。

とりわけ面積の大きさや影響の大きさを考えれば、山林の取り扱いに対する町の姿勢が最も重要であると思う。

森林の持つ多面的機能は重要であり、特に緑のダムと言われるように、洪水を防止し、地下水を生み出すなど、その能力には優れたものがある。しかし、その能力を引き出すためには、森林の間伐などの手入れが必要であり、荒れたままでは、その機能を十分に発揮することができない。そのためには、人工林の手入れ、伐採後に広葉樹の植樹などの施策が必要である。大津町にマッチした多様で感動を与える美し

い森林づくりは、多くの人々の参加と長い年月を要する。一瞬にできあがるものではない。そのため、力強い運動が求められる。町発展のためにも美しい森づくり運動を町が率先して展開すべきであると考えている。

家人町長

大津町の約半分の面積が森林であり大津町の宝であると思っている。この町有林や民有林等の森林は、それぞれに地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収したり、あるいは災害の防止や、熊本都市圏の恵みの水を確保するなど素晴らしい役割を担っている。大津町の振興総合計画では、林業の振興と生産基盤の整備、そして森林の持つ多様な環境保全と活用を2本の柱として挙げている。具体的には適切な施策計画に基づき間伐を実施し枝打ちや下刈り、除伐などの維持保全活動を実施している。民有林の整備については、国・県の補助を活用しながら計画を円

滑に進めるために山林の現状の確認を行う事業などを森林組合と連携して推進している。生産基盤の整備については、林道や作業道の適正な維持管理を行っている。県・町・森林所有者や森林組合などと連携を密にして森林施業の共同化や林業後継者の育成、あるいは機械化の促進や木材流通、加工体制の整備など、長期展望に立った林業政策

の総合的な展開を図っている。

大津町では、「環境の森」や俵山の広葉樹の森などで、各企業団体と環境保全協定を結び、植樹や下刈りなどが行われている。かけがえのない森林環境を次世代に引き継ぐための活動としては、森林組合や大津林研グループなどにより子ども達や多くの方々に森林の持つ機能を学習する講座

や自然とのふれあい体験も行っている。また、「NPO法人里山まもり隊・どんかつちよ」など、水源の涵養や緑を次世代に継承していく活動を通して、自然との共生や子どもたちが地球環境に関心を持ち、命を大切にすることを育む地域づくり、人づくりを目指した活動をする団体もある。



町有林間伐作業



手嶋 靖隆議員

行政改革を問う

町長／行革大綱を推進

地方分権の時代を迎え三位一体の改革の中で必然的要素として徹底的行政の無駄を省き、さらなる行政サービスの向上を目指す施策を述べられているが、本町の既存の組織を見直し簡素で効率的な行政を実現することが地方行政の重要課題であることから、行政改革のために鋭意、検討されてきたと思いますので、基本的姿勢を伺いたい。

①組織機構の簡素合理化を図る趣旨について。

②人事合理化として財政硬直化の原因の一つに人

件費の徹底的な見直し、長期的な定員削減計画を立て、当分退職者補充を控える考えは。

③既存の事務体系を見直し、行政をどうやるべきか、補助金の有効に活用されているのか、これを整理し統廃合は考えられないのか。

④行政運営の効率化と住民サービスの向上を図るための投資的経費を削減のため、財政構造の仕組みを変える観点から、今後、どのように民間委託を促されるのか。

家入町長

①組織機構の簡素化や合理的効率化につきましては、住民の視点から見て分かりやすいものであること、住民と連携した行政サービスの提供を可能とする組織であること。



部制になって

今後も行政改革の取り組みとあわせて適切な行政運営が可能な組織作りを進める。

②今後の人口の増加や地方分権などに伴う業務量の増加も考えている。今後の適正化の取り組みに当たっては退職者補充の抑制を図ることは勿論、年齢構造等も考慮したうえで民間委託の推進や職員の人材育成等の取り組みも連動しながら住民サービスや行政運営に支障のない適切な定員管理を図る。

③補助金は町民との協

働によるまちづくりにふさわしい施策遂行手段でなくてはならない。今後は単なる一律の削減を目指す見直しではなく目的、効果、仕組みなどが今の時代に適合しているかどうかを十分に検証する。

④民間委託については民間の能力を活用しながら住民満足の向上と経費節減の効果を図るという集中改革プランの方針に従い、民間に出来ることは民間にを原則とした住民共同経営の視点に立つて進める。

大型住宅団地の育成促進

町長／民間活用に向けて支援する

美咲野は開発許可時に町とＪＲで小学校用地として約３ha、造成の基本協定がなされている経緯があり、相互協定のもと

に造成された用地が遊休地として放置されている現状を見て、行政支援のもとに公的、商的施設の誘致促進を図ることが急務不可欠と思うが、このことについての所見を聞く。

家入町長

行政として支援ということにつきましては、今後、ＪＲとの検討の中で用途地域の見直しなどについての部分的協力はあるが、今のところ公共施設関係等の建設予定はなく、今後についても民間活用で進めていただく。



建設中の緑ヶ丘保育園



鈴木ムツヨ議員

教育行政を問う

教育長／さらなる情報公開を

①図書館運営について
蔵書数は約11万冊、貸出しは約24万冊、1人当り約8冊。月1回のブックスタート、移動図書館未来号で20ヶ所巡回。愛される図書館になっ

ているが親子で行くと靴音が響き話し声がとても気に掛かる。子どもコーナーにカーペットを敷いてほしいのと、低くBGMを流して欲しい。文化の拠点として、教育委員会の後援がある物は有料でもチラシを置いて見やすくして欲しい。

②教育委員会の情報公開日程を公表し傍聴しやすくするべき。教育長及び教育委員との対話の設定が必要では。教育長は教育委員会が本来の機能を発揮するためどのような点を考慮されているか。

宮崎教育長

教育委員会は合議制で町の教育の基本方針の策定や委員会の制定・改廃、教育機関の設置や廃止、職員の人事等を管理、執行。地方教育行政の組織及び運営に関する法律が来年度4月施行されるのでさらなる情報公開に向けて検討。BGMはアンケートを取る。対話の日は考えていない。チラシの件は図書館協議会等とも協議し検討する。

寄付条例の設定を

町長／「町おこし大学」で検討

国の三位一体改革により地方は自主自立の財政運営が課せられている。

幸い大津町は4年連続で不交付団体として予算計上。しかし今後の財政見通しの不安定要素は増している。新たな財源の1つとして寄付条例の新設を考えられないか。

寄付を通して行政運営に参加し、財政的に応援し町の活性化に寄与する。

家人町長

4年連続の不交付団体という元気な大津町だが、今アメリカの影響で日本の円高や株安で企業にも相当影響が出るのは確かである。大津町の宿場町の心、思いやりの心を生かした行政をやることで住民の温かい心につながり、寄付条例にもつながるのでは。「町おこし大学」の中で検討。



図書館での読み聞かせ

女性管理職を30%に

町長／全部が女性でも結構



審議中の男女共同参画社会推進懇話会

家人町政2回目の組織機構改革で大津町で初めて部長制がしかれる。女性職員は全体の3分の1を占めている。管理職を30%にできないか。

家人町長

女性の登用は30%でなくとも全部が女性でも結構だという思いをしている。男女の区別なく採用

し配置も行っている。県の職員研修に女性を今回派遣。しっかり頑張って貰い期待している。

その他の質問

大津地区公民館分館をコミュニティセンターに

この区間に 8 億円も使うのか 駅前楽善線

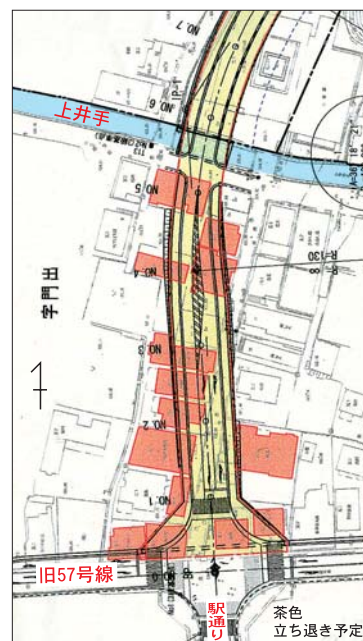
町長／費用対効果はあると思う



坂本 典光議員

駅前楽善線工事予定の中で、上井手と旧57号線間の道路拡張工事は両側に家屋が密集している。

(1) 立ち退きは何軒か。
(2) 立ち退き費用を含めて、この間の工事費はいくらか。
(3) 費用対効果から見て問題ないと思うか。



都市計画道路・駅前楽善線計画図

家人町長・中山課長

(1) 上井手と旧57号線間の駅前楽善線の改良に伴う立ち退き軒数は14軒、交差点改良に伴う立ち退きが6軒、合計20軒である。

(2) 立ち退き費用はまだ建物の鑑定をしてないので明確ではないが、立ち退き費用、用地買収それから建物の移転補償等も含めて、当該区間の事業費は約8億円を見込んでいる。

(3) 国が定める費用便益分析マニュアルに基づいて考えると、費用対効果はあると思う。



駅通りから上井手方面へ旧57号線の交差点

廃校になった学校の 校歌をCDに残そう

教育長／作る方向で検討する

大津町では今まで多くの小・中学校が廃校になった。

当時の校歌を地域の文化としてCDに残すべきである。卒業生も思い出になるだろう。



このような音楽CD

宮崎教育長

これまでのように楽譜、歌詞だけの保存ではなく、現代にあった保存方法であるCD化をご指摘いただき大変ありがたい。現在は小学校が6校、中学校が2校である。

教育委員会として貴重な歴史、文化資料として平成7年に発行した大津町史研究第7集、郷土史落穂集がある。その中で明治、大正、昭和から平成7年までの14小学校と2中学校、2高等学校の歌詞、そして最近の小学校、中学校、養護学校、

その他の質問

道州制について

大津高校、産業高校の13の学校の校歌の楽譜と歌詞を掲載している。

校歌は町民の皆さんや卒業生にとって懐かしく楽しい思い出として記憶されていると思う。作る方向で検討する。



長谷部健一郎議員

地域総合物産館建設は

町長／時期を考え検討する

地産地消の件について検討しているか。現存各施設で農産品の販売がなされていることは喜ばしい事であるが、農産品の安心安全の方法を確立し農業所得の向上に貢献していただきたい。人が行きかう商業集積空間を生かした物産館の建設が必要であると思われる。その中に産品の研究所を併

設して売上向上を目指すべきであるが出来ないか。運営は多少赤字は危惧される。運営の効率化をはかり商業ベースに乗せることは可能ではないか。建設検討委員会をつくってはどうか。農業の浮揚を真剣に考えていただき、今後の動向をリサーチしていただきたい。

商業集積空間を生かした物産館はできないか
(大津本町商店街)

家入町長

地産地消が一番重要と考える。営農関係について今後も取り組み、支援をどうするか考えなくてはならない。消費者が求める品づくりは厳しい。地産地消の研究会も立ち上げている。

市街地の活性化の中で物産館をつくることは赤字が出る事も考えられる。その時期に考えていない。今後検討する。研究開発については新たな農産物開発も考えている。

大塚産業振興課長

市場調査は必要と思う。農産物の生産と消費者に何が必要か調査に取り組んでいる。加工技術も必要、今冷蔵冷凍施設で調整している。JAの方と一緒に取り組む。

企業塾の設置は

町長／企業と相談し行いたい

大津町には大企業が多く立地している。企業の求めている人づくりには大企業のトップや研究員を講師として若者にわが町の子育て日本一を目指した企業塾を設置してはどうか。企業と若者の距

離が近くなり就業機会が確立できるのではないかと大津町に若者が定着すれば、大津町の宝となることであると考える。何らかの意識づけを行い、若者の成長を育成していただきたい。

家入町長

企業と連携や雇用拡大のための塾は地元の子供たちに大切だ。大津町独自のものをつくることはよいことであり、その方向でいきたいと思う。塾の課題もあると思う。検討しながら企業の皆さんが素直に気軽に講師になってもらえるような講座も企業の方と相談しながら行いたい。

企業立地に頑張る市町村20選に選ばれた大津町
経済産業大臣から感謝状を受ける家入町長



藤森昭二朗議員

学びの校庭に 自然環境の校庭づくりを

教育長／環境整備に力を入れる

校庭を見回してみると
隅々が有効に生かされて
いない所がある。自然環
境と共存できる植木や四
季折々の花、実のなる木
等の配置された校庭。学

宮崎教育長

学校は、四季折々の花が咲き、やすらぎの森は必要で、自然の鳥や昆虫が見られるようなそんな、自然体験が出来る環境づくり、これは大切なことだと私も思う。教育の面から考えてみても、花や草木を育てるために種まき、苗植え、や肥料やり水やり、そういうことをする中で、勤労生産的な学習や自然を愛する畏敬の念・美しいものに感動する心など豊かな心を育み教育的効果も大きいものではないか。学校の中庭や校庭の隅など利用し安全面等も十分考慮しながら、各学校とも協議し、一緒になって環境の整備ということに力を入れていきたい。

力向上に人間形成での視
覚・聴覚・嗅覚・味覚・
触覚などの五感づくりの
自然体験のできる校庭づ
くりをすすめてはどうか。

大津町には水の恵みがある。大昔より流れている白川、上流の畑堰よりの用水路に始まり、上井手・下井手を流れて南部地域の田を潤し、北部地域では、矢護川がある。

年中流れている。水の力を利用してミニ発電を行い、地域づくりを目指し、売電し、CO₂を少なくするため、地球環境を守るためにも進めてもらいたい。

流れる川の水力で 用水路発電を 町長／前向きに検討



大津北中学校玄関前

家入町長

ミニ水車の件につきま
しては、長野県の須坂市
において、信州大学の池
田先生による、小型水車
の小型発電を農作業の関
係に利用されている。水
力発電は2メートルの落
差で、水路の幅は50セン
チぐらいでもいいという
こと。費用設置が5000
万円以下で最大で70ワッ
トの電力を出すというよ
うな話も聞いている。う
まく利用すれば、街中の

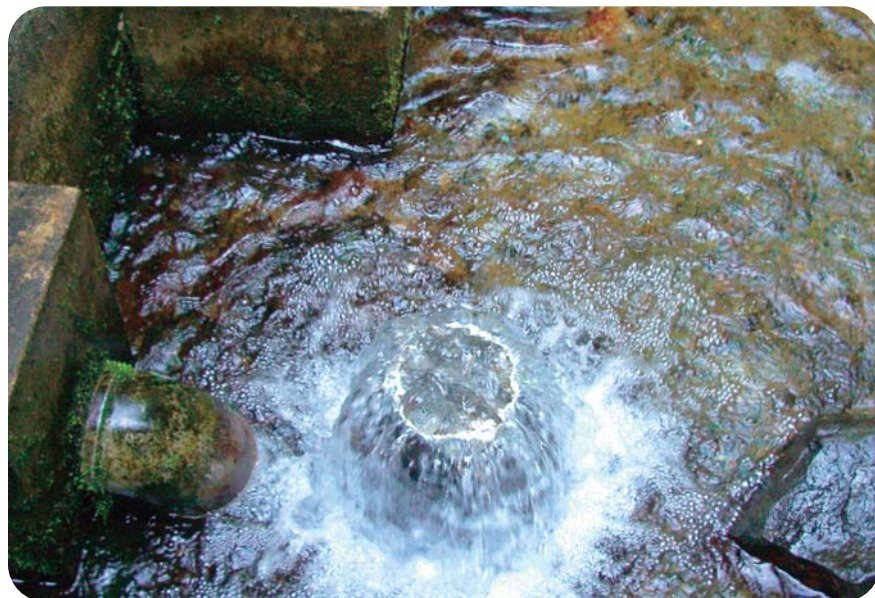
街灯はうまく光り輝くん
じゃないかなあと思う。
栃木の方でもできてい
るようなので、検討する
価値があると思う。
大津町の中心市街地だ
けでなく、白川、矢護川
等の水をうまく利用して、
その地域で何が出来るか。
大津町にしかできないとい
う自然エネルギーを利用
したものを活用してい
く我々の知恵が必要、た
と



三連水車



大津町の宝 水



豊かな湧出量を誇る諏訪水源（矢護川）

豊かな水と緑 大津町は地下水の宝庫

阿蘇の大地を源とする大津町の地下水は、熊本都市圏一〇〇万人の命の水であり、農業・工業を支える無くてはならない水である。町は広葉樹を植え大事な水資源の涵養を図っている。今年度から発行する地域通貨は「水水」と命名された。

いろはにほへと

24

芋の煮えたもご存知ない

世間ばなれのした人を、芋の煮えたのもご存知ないやつだという。しかし、ほめているのか、けなしているのかはつきりしない。昔は、そういう人では実際の役に立たないという意味で、けなした言葉に使われたのだろう。あまり現実にごだわっている人より、芋が煮えたもご存知ない脱世俗人のほうが奥ゆかしく見えてくる。

表紙の解説

樹木名 ベニエゴノキ
科名 エゴノキ科
属名 エゴノキ属

日本全国に分布する落葉高木で、高さ6〜7メートルで、株立ちになる樹形が好まれ、庭木によく利用されます。5〜6月ごろ、新緑の枝先に径約1・5cmのベニ色の花が開花する。秋には、丸形の小さな実が、多数たれ下がります。別名チシヤノキとも言う。自然の山には白花を見かけます。（新開 則明）

編集後記

世界の阿蘇を背景に鮮やかな黄色い菜の花畑が広がっている。大津町では環境問題に取り組む各団体がこの菜の花栽培に挑戦してい

る。21世紀は「環境の世紀」と言われている。もうすぐ、地球温暖化を実感させられるあの猛暑の日々がやってくる。この菜の花栽培という小さな取り組みが、町民一人ひとりの心に環境保護の大切さを教

え、未来を担う子どもたちに伝えられたら素晴らしい。議会の一般質問でも、環境問題に関する内容が多く取り上げられるようになった。町も積極的に取り組む姿勢を示している。（月尾）

議会の様子を見て聞いてはいよ
次回は6月中旬予定です。

議会広報編集特別委員会

委員長 長俊彦
委員 荒木長
副委員長 ムツヨ
委員 鈴木典光
委員 坂本純一
委員 月尾朗
新開 則明

この議会だよりはリサイクル推進のため再生紙を利用しています。